



中国の結婚事情

日本では6月はジュンブライドとして入籍や挙式をする方が増えるそうですね。そこで、今回は中国の結婚事情についてご紹介します。

皆さんは、中国で結婚するために必要な一般的な条件をご存知ですか。それは、新婚夫婦の新居となるマンション・或いは一戸立てなどの不動産です。中国語で「成家^{せい か}」という言葉は、結婚することを指します。この言葉も表しているように中国では、家庭において、物理的な意味での家、つまり不動産の有無が非常に重視されています。

ご周知の通り、上海の不動産価格は日本の東京や大阪と同等或いはそれ以上の価格相場ですから、20～30歳代前半の若者が自身の経済力で購入することがかなり厳しいでしょう。ところが、結婚相手、特に男性側に対して、不動産を所有していることを条件とする女性や親が多いため、息子の結婚準備として不動産を購入してあげる親が少なくありません。日本では物価が安定し、一生賃貸住まいの家庭も珍しくないと思いますが、中国では、物価上昇が激しく、政府が不動産購入規制をしても価格が上昇するほどですから、「不動産がない=生活が不安」という風潮があります。

このような社会情勢の中から、家柄や経済力などあれこれ考えて結婚できない若者も増えています。中国上海市の民政局が発表した2013年度の平均初婚年齢は、男性が30.2歳、女性が28.2歳でした。日本と大差ありませんが、晩婚化になりつつあることが間違いありません。

ただ、中国は日本と比べて、適齢期を過ぎた独身者に対する周囲の関心や視線が強いと思います。日本では、親が子供の結婚相手を熱心に探すことはあまりなく、むしろ過干渉や子離れしていないと捉えられるでしょう。しかし、中国では、親の方が子供の結婚相手を探すことに、必死だと言っても過言ではありません。上海市の中心地にある人民公園では、毎週日曜日の午前中になると、わが子の結婚相手を探すために集まった親たちで賑わっています。その光景はまるで市場のようです。子供の写真や職業、性格などを記載したPRカードを持った親同士の情報収集の場なのです。他にも、親子で一緒に参加するテレビのお見合い番組もあり、カップルが成立した際には、3人で仲良く手をつないで退場していきます。

経済が豊かになり、個人の価値観も多様化した今日、ますます自然な縁に身を任せて結婚することは難しくなっています。親の尽力やお見合い斡旋サイトの急増のほか、最近では、区・団地(日本の町内会に類似したコミュニティー)がお見合いイベントを企画するほど、街全体での晩婚化対策が見られます。

協広島総合卸センター 囑託
(前上海事務所 所長)
蔡 德 榮

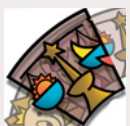


人民公園 子供の結婚相手を探す親たち

今月の占い師

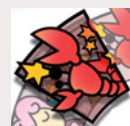
小泉マーリ (コイズミ マーリ)

デジタルコンテンツ黎明期より占い師として活動を開始。これまで鑑定した人数はのべ1万人以上。
占術:西洋占星術・タロット・数秘術ほか 活動歴:インターネット「マーリの恋愛占い」(Softbank/au)
「運命占星術」(Nifty) 「マーリの恋愛占星術」(DION/ODN) 「西洋占星術」(DION/ODN) ほか多数



天秤座生まれ 9月23日～10月23日

軽やかに好奇心の向くまま、
様々なことにチャレンジできそう。



蠍 座生まれ 10月24日～11月22日

身近な人たちとの関係で、
気になることがあるなら改善を。